

# My Town Topics

地域の行事や身近な話題、耳よりな情報をお待ちしています。



↑体験談を交えて講話する有森さん

## 宝くじ文化講演会 目標に向かってチャレンジを

女子マラソンでおなじみの有森裕子さんを迎えて7月10日、長島町文化ホールで宝くじ文化講演会が開催されました。

当日は、会場がほぼ満席となる中、有森さんが「よろこびを力に」と題して、小学生時代から社会人になり、オリンピックで連続してメダルを獲得するまでの体験を熱心に講話されました。

有森さんは、「自分は決して能力の高いエリートといわれるような強い選手ではなかった」「あきらめず目標に向かって一歩ずつチャレンジした」「努力は必ず実を結ぶときがくると信じて頑張りが続けることが大事」などと話し、聴衆に感動と勇気を与えていました。

今回の講演会には多くの子どもたちが参加していましたが、「いい話で感動しました」などの声が聞かれ、目標を掲げ、夢を抱き続けることの大切さを学べたようです。

## 肉 日食観察会 目で欠けた太陽を観察

国内で皆既日食が見ることができた7月22日、長島町文化ホールで日食観察会があり、家族連れなど約200人が集まりました。

当日は天候が心配でしたが、曇模様ではあったものの部分日食を観察することができました。最初にホールで、薩摩川内市の愛甲伸一社会教育指導員が日食のメカニズムや観察方法などを紹介。その後参加者は外へ繰り出して観察を開始しました。空を見上げ、雲の合間から現れた太陽を日食グラスで直視したり、ダンボール箱に小さな穴をあけたピンホールに太陽の影が映ったりすると、参加者から大きな歓声があがりました。

薄い雲の中に入り、欠けて三日月のかたちをした太陽は肉眼でも観察できました。部分日食が進み「食の最大(94.8%)」を迎えるころには、あたりは薄暗くなり、一瞬涼しさを感じました。

日本国内の陸地で皆既日食が見られたのは46年ぶりで、国内で観測できる次回の皆既日食は2035年9月2日です。



↑ダンボール箱に小さい穴をあけ、ピンホールで日食を楽しむ子どもたち



←本町から見ることができた部分日食